

～「(仮)みんなのひろば」検討高校生ワークショップ第1回を開催しました～

現在大槌町では、検討が進められている広場「(仮)みんなのひろば」について、整備イメージを考えるワークショップを行っています。

今回は高校生の皆さんに、大槌に必要な空間やひろばのイメージについて意見を出し合っていました。

第1回高校生ワークショップ結果概要

第1回高校生ワークショップの内容

◎開催日時：令和5年1月25日（水） 16：00～17：15

◎会場：岩手県立大槌高等学校

◎参加人数：15名

今の大槌町内にどのような空間が必要なのか、望まれているのかなどについて意見を出し合い、ひろばのイメージをコンセプトとしてまとめました。



ワークショップの様子

ワークショップの結果

「今の大槌にはどんな空間が必要でしょうか？また、どんな場所があると良いと思いますか？」※意見の抜粋

- | | | |
|------------------------------|------------------------|--------------------|
| ・ 幅広い世代が通える場所 | ・ 色々なイベントが開催されるような空間 | ・ 水遊びができる場所 |
| ・ 幅広い世代と一緒に遊べる場所 | ・ 遊具がたくさんある・大きい遊具がある場所 | ・ 高校生も遊べる場所 |
| ・ 同じ公園でいろんなグループが遊べる共有スペースがある | ・ 勉強できる場所 | ・ スポーツができる場所 |
| ・ 屋根の下のような空間 | ・ お茶ができる | ・ 「人の輪」ができる |
| ・ 新しい人間関係ができる | ・ ピクニックができる | ・ ボール遊び可能なスペース |
| ・ 安全に遊べる | ・ みんなが床や道路に絵を描けるような場所 | ・ 大槌の景色を活かした写真スポット |
| ・ 何かあった時集まれる場所 | | ・ 自然・緑・植物を活かす |
| ・ 気分を落ち着かせる場所 | | ・ 桜が見られる所 |

主に、多世代の交流・安全・遊び・自然についての意見が多く見られました。

大槌町にとって課題だと感じていることに対しては、「町に色が少ない」、「みんなで遊べる公園がない」、「大槌にもっと色を増やしたい」、「ひろばで自由に絵を描いたりできるスペースがほしい」、「幅広い世代が集まって遊べる所が必要」、「子どもたちが安全に遊べ、近所迷惑にならない広場がほしい」などの意見が出されました。

～ひろばのコンセプト～

みんなで「つくる」

まちのシンボル

自然と人の輪

ひろばのコンセプトに関しては、ひろばの整備が始まるときから一緒に何かを作ることができたり、地面や壁に絵を描くことができたりすることで、みんなでひろばをつくり育てていきたい、という思いが込められています。みんなで作ることで愛着がわき、町のシンボリック的存在になることで、人が集まってくるようになることが、大槌町らしさにつながるのではないかという意見でした。